

翔光

(題字は齋藤知事)



つくるでつなぐ

建築を通じて、まちの未来を創る

上林建設株式会社

宍粟市

兵庫県の森林面積は県土の約67%を占め、宍粟市においては約90%を占めている。

上林建設株式会社は緑豊かな宍粟市に事務所を構え、本年4月に創業98年目を迎えた。

2020年12月に完成した新社屋は、市内を流れる揖保川近くに建ち、地元木材をふんだんに使った、木の風合いを感じることの出来る、温もりある空間が広がっている。

2024年には、県外からの就職者の地域内定着を図るなどの取り組みが評価され、「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞した。(詳細はP4)



上林建設株式会社の「ue」とブランドメッセージ「つくるでつなぐ」の人と人の繋がりを表現して作られた企業ロゴマーク

CONTENTS

- 02 新任会長研修会／正副会長会・理事会／事務局連絡会議
03 CCリーダーあいさつ・CC研修
04-05 あなたのまちの元気な企業・宍粟市商工会情報

- 06 県女連幹部講習会・県青連主張発表大会
07 兵庫型奨学金返済支援制度／FOOD STYLE Kansai 2026
08 オープンネーム後継者募集イベント／県協協通常総会・事例発表大会

新任会長研修会

6月18、19日神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、令和7年度新たに就任された商工会長を対象に新任会長研修会を開催した。

1日目の研修では、商工会を取り巻く環境や商工会の経営支援について、本会職員から説明を行い、県産業労働部地域経済課の戸敷課長から「令和7年度兵庫県主要施策について」をテーマに県施策の説明があった。

2日目は、本会職員から人事制度等の説明を行い、県連副会長で丹波篠山市商工会の田中会長が「丹波篠山市商工会の共済推進について」を主要テーマに、同じ商工会会長としての立場から講義を行った。

最後に商工会会長としての役割や、商工会が抱える課題について活発な意見交換を行った。

研修内容は右のとおり

- 【研修Ⅰ】「商工会を取り巻く環境等について」
- 【研修Ⅱ】「兵庫県商工会の経営支援について」
- 【研修Ⅲ】「令和7年度兵庫県主要施策について」
- 【研修Ⅳ】「商工会の人事制度等について」
- 【研修Ⅴ】「丹波篠山市商工会の共済推進について」
- 【研修Ⅵ】「県関係者から商工会を見て」



第2回 正副会長会・理事会

6月19日神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、第2回正副会長会、第2回理事会を開催した。

藤井会長の挨拶の後、議案審議を行った。

当日審議した議案は次のとおり。

- 第1号議案 旅費規程の一部改正について
- 第2号議案 各委員会への委員委嘱について
- 第3号議案 顧問の委嘱について

全ての議案が原案どおり承認された。

このうち第1号議案では、県連理事会や委員会等にWEBで出席する場合の役員旅費の改正について承認された。

また、第3号議案では、前県連会長である小寺博史氏の顧問就任について承認された。



第1回 事務局連絡会議

7月2日、ホテル北野プラザ六甲荘（神戸市）において第1回事務局連絡会議を開催した。

新任事務局長の紹介の後、県連合会より新役員名簿と各委員会への委員委嘱、新しいチーフコーディネーター名簿と研修内容、ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業、ミモザ企業推進実績、及び各種補助事業の申請・採択状況等について報告を行った。またミニセミナーとして、安藤チーフアドバイザーよりフレックス制度について講義いただき、意見交換会では各商工会の事務局長より規程改正のことなど様々な意見や情報が寄せられた。



発展する
地域とともに

但馬銀行
TAJIMA BANK

〒668-8650 兵庫県豊岡市千代田町1番5号
TEL 0796-24-2111
URL <https://www.tajimabank.co.jp/>

未来を変えていく、健康増進型保険。

住友生命

Vitality

住友生命保険相互会社 神戸支社
 〒650-0031 神戸市中央区東町126番地
 神戸シルクセンタービル7F
 TEL: 078-391-3229

“住友生命「Vitality」”スペシャルサイト
<https://vitality.sumitomolife.co.jp/>

この度、第6期チーフコーディネーターのリーダーを拝命いたしました。

中小企業庁が提唱する「経営力再構築伴走支援モデル」では、対話と傾聴を通じて事業者様の気づきと腹落ちを促し「内発的動機づけ」によって自走化へと導く流れが示されています。

この内発的動機づけとは、外部からの報酬や強制ではなく、自身の興味や関心、達成感といった内面的な要因によって行動が促される状態を指します。

私たちが支援した事業者の方々や支援事例を聞かれた方々が「商工会はここまでやっているんだね」と口を揃えられるたび、もし私たちがいなくなれば、地域経済はどうなるのかと考えることがあります。同時に、私たちの存在意義は計り知れないとも感じます。

私は、このような経営支援の成功事例を多くの方々に知っていただくことが重要だと考えます。

商工会と共に頑張れば自社も成果を生み出せると希望を持ってもらい、こうした希望が事業者の意欲を醸成し、行動へとつながっていくと考えるからです。

そして、その意欲を持った方々を伴走支援し成果に結びつける。その成果を効果的に発信することで、また

新たな意欲の醸成へとつなげていく。

このような好循環を生み出し、地域経済を活性化し持続可能な地域社会にしていけるこそが、商工会が担う役割だと考えます。

では、地域社会を支える私たち自身は、この内発的動機づけによって行動できているでしょうか。

そして、それを育むための心理的安全性は確保されているでしょうか。

組織内で誰もが意見や感情を安心して表現できる環境は、私たちの成長にも不可欠だと考えています。

そのため、行政等の利害関係者からの評価、事業者の意欲、私たち商工会職員の意欲が向上する「好循環」を目指して、今期はチーフコーディネーターという役割の楽しさと、実りある取り組みに関する情報をこれまで以上に定期的に発信していきたいと考えています。そのことにより、職員の皆様の内発的動機づけの一助となれば嬉しく思います。

私たちの取り組みや成功事例の共有が、商工会という組織全体の活性化、ひいては地域経済の持続的な発展につながる好循環を生み出せるよう、私たちは全力で前進して参ります。

Column
CCコラム



姫路市商工会 藤川 裕司



第1回 チーフコーディネーター研修連絡会

6月6～7日、兵庫県商工会連合会及び神戸駅前研修センターにおいて、第1回チーフコーディネーター（以下、CC）研修連絡会を開催した。

今回の研修は、CC第6期として初めての研修であった。前期でも取り上げた「経営力再構築伴走支援」をテーマに、藤尾チーフアドバイザー（以下、CA）から講義をいただいた。

今期の活動を行う上で、新メンバーと前期から継続しているメンバーとの知識共有を行う機会となった。

午後からは、今年度新たにCAに就任いただいた下山CAから、ここ数年の内に顕著となってきた人手不足の問題に対する支援力向上を目的に「採用マーケティング」について講義をいただいた。下山CAはこれまで求人広告会社での勤務経験や中小企業診断士としての支援でも採用に関する支援実績があり、マー

ケティングの基本である「誰に」、「何を」、「どのように」や購買行動モデルのフレームを採用活動に応用した形で説明いただいた。講義の後半では、面接以外の既存の枠を飛び越えた人を見抜く選考方法についてグループワークを行い、様々な選考方法が提案され、採用支援に関する支援力向上に繋がることがうかがえた。

また、研修会内で協議し、今期のリーダーとして姫路市商工会の藤川裕司氏、サプリーダーとして豊岡市商工会の齋藤千恵氏を選出した。



へ 下山CAの講義の様子



ジブラルタ生命は、
お客さま一人ひとりを大切に
心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています



緑の募金へのご協力をお願いいたします

緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちの環境学習などに活用しています。

●お振込みの場合●

郵便局：手数料不要の払込用紙をお送りしますので、当協会までご一報ください。
銀行：三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438（手数料が必要です）
公益社団法人兵庫県緑化推進協会



●賛助会員入会のご案内●

私たちの活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。
入会金は不要です。会員としてご支援いただけますようお願いいたします。
（1口 10,000円／年）

公益社団法人兵庫県緑化推進協会 TEL 078-341-4070

あなたのまちの
元気な企業 ✨

一人ひとりが輝き、活躍できる職場を目指して
社員が幸せを実感できる、多様な働き方の促進を図る

上林建設株式会社 宍粟市

全国屈指の難読地名の1つとして取り上げられる宍粟市にある上林建設株式会社は、現代表である3代目 上林博幸氏の祖父で大工棟梁だった上林甚二氏が1927年に「上林組」として建築請負業を創業し、1964年には「上林建設株式会社」へと組織変更を行い、今年で98年目を迎えた。

現代表が2006年、社長に就任してから建築の企画から設計、施工、アフターサービスまでを一貫して行う企業として、現在はマーケティング力を活かした事業提案をお客様一人ひとりに応じて作成している。

建設業界の3Kと言えば、従来は「きつい、汚い、危険」というネガティブな労働環境がイメージされることが多かった。しかし、同社で働く社員の平均年齢は34.3歳と若く、生き生きと働く姿が垣間見られる。2020年に完成した同社の新社屋はワンフロアとなっており、社内コミュニケーションが活発に行われ、互いの仕事を意識し共有することができる場となっている。



社員の笑顔が、お客様の笑顔につながる

以前は地元出身の高校生や専門学生を紹介等で採用してきたが、従来の採用方法に危機感を感じ、社内で検討を重ね2018年の採用活動時から「会社がより成長するために、継続的な新卒採用を重点的にやろう」と方針転換を行った。入社がゴールではなく、働き続けたいと思ってもらうことが大事だと考え、大学3年生の夏ごろから入社1年目が終わるまでの約3年を1000日とした「1000日プログラム」をスタートさせた。

インターンシップは、同社がリノベーションした市内の古民家ホテルを使い、1泊2日で行われる。入社後の半年間は「残業・休日出勤なし」とし、仕事に慣れるための研修期間としている。また、市内にある他3社と合同で研修会や交流会を開催する等、自社の枠組みを超えて、地域で社員に定着してもらえるような環境づくりを行っている。

その結果、インターンシップに参加者の多くが同社の考えに共感し入社を希望する人が増え、入社後まもない退職者は減少、定着率向上に繋がっている。また、従業員46人のうち女性が14名と約30%を占めており、年々、女性の入社比率が高くなっているのも特徴の1つ。女性だけでなく男性の育児休業

取得者も増えており、取得率・復職率も100%と驚異の数字を誇っている。男性の育児休業の取得は、社内全体が取得しやすい雰囲気に包まれ、既に取得した社員の後押しもあるという。

2024年には同社の取り組みが評価され、「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞し、2025年には「ミモザ企業」にも認定された。

きっかけは社員からのひと言

地域コミュニティの場として、社屋の隣に建てられた「まちライブラリー@宍粟」は、会社の大会議室を私設図書館として地域に開放している。

まちライブラリーの建物も地元木材をふんだんに使用しており、1歩足を踏み入れると木材の香りが漂ってくる。室内にはたくさんの書籍が並び、イベントスペースとしても活用され、不定期ではあるがコンサートや絵本の読み聞かせ会が開催されている。



＜私設図書館「まちライブラリー@宍粟」
天井が高く開放的な空間
には約1,700冊の蔵書

多くの人が訪れる
「しろう森のバザール」＞



また、毎年5月、中国自動車道 山崎インターチェンジからほど近い場所で「しろう森のバザール」を開催している。同イベントは、同社が目指す「生き生きしたまちづくり」とブランドメッセージの「つくるでつなぐ」を具現化した地域活性化活動として、社員からの発案で2013年にスタートした。

飲食や雑貨などの店が並び、ワークショップや音楽イベントが開催され、出店者だけでなく郊外からの来場者も増え、毎年心待ちにしているファンがいるイベントの1つとなっている。



へ 代表 上林氏が描くまちづくり

2年後の2027年には「創業100周年」を迎える。全社員が一丸となって思い描くまちづくりの実現に注目していきたい。

取材先
概要

事業所名 上林建設株式会社
代表者 上林 博幸
住所 宍粟市山崎町御名226-1

TEL 0790-62-2828
URL <https://www.uebayasi.co.jp/>



HP

Instagram

商工会の紹介ページ

宍粟市商工会



会長
松本 貞人
株式会社松本工務店
代表取締役

宍粟市商工会は、平成19年4月、旧4町（山崎町、一宮町、波賀町、千種町）の商工会が合併し誕生しました。合併当初は旧町ごとに支所を設置していましたが、平成27年4月から北部3町を北部支所（波賀）に統合し職員を集約、一宮と千種は事務所として一日おきに開所する体制となっています。

平成30年6月、地域創生の実現に向け、宍粟市、西兵庫信用金庫、商工会の3者

商工会概要

で包括連携協定を締結。その枠組みから地域人材の育成・発掘、人材誘致による地域経済の活性化を目的とした「宍粟市人財力フル活用プラットフォーム推進会議」を設置し、人財に焦点を当てた地域創生に係る連携事業を行っています。また伴走支援を強化し、採用強化、労働環境整備、創業、デジタル化、販売促進に係る支援にも積極的に取り組んでいます。

地域情報

JUMP UP SHISO・わくわ〜く企業図鑑

「宍粟市人財力フル活用プラットフォーム推進会議」による連携事業で、毎年開催する企業説明会『JUMP UP SHISO』では主に市内3高校の生徒を招待し、企業の魅力を発信しています。昨年度は2月4日（火）に開催し、32社が出展、地元高校の1・2年生128名、大学生及び一般求職者25名の来場がありました。

また、市内企業の紹介サイト『わくわ〜く企業図鑑』は、企業情報だけでなく各企業で働く先輩のメッセージや1日のスケジュールなどを掲載し、就活生がその企業で働いたときの姿がイメージできる内容にしており、現在27社が登録しています。

JUMP UP SHISO 2025 >
開催の様子



へ わくわ〜く企業図鑑



わくわ〜く企業図鑑HP

宍粟市・宍粟市商工会経済懇談会

地域全体の活性化はもとより、経済に関する情報交換・共有することを目的として平成25年度から「宍粟市・宍粟市商工会経済懇談会」を年に複数回開催しています。これまでも懇談会での提案が行政の施策に反映されるなど、地域課題を互いに共有する場として役立っています。今年度からふるさと納税に係る返礼品の掘り起こしなどを検討するための委員会を設置し、協議を進めることとなっています。



地域団体の活動支援

旧山崎地区においては平成28年から有志による町家再生事業や観光イベント事業などの地域活動を支援してきました。町家再生事業では合計6件の建物を改修し、事業者が店舗として活用、空き家・空き店舗対策に成果を残しています。

また、旧波賀地区ではかつて地域の産業を支えた波賀森林鉄道を復活させ、観光資源として活用する取組を波賀元気づくりネットワーク協議会と実施し、昨年総延距離678mの軌道が完成しました。そして10月25日（土）に「第3回全国森林鉄道サミット in しそ波賀」が、10月26日（日）に「林鉄フェス」が開催されます。



へ かつて洋装学院が飲食店に再生



へ 復活した「森林鉄道」

4町夏まつり事業

合併前4町の夏まつりを商工会青年部が中心となって、毎年開催しており、地元の夏の風景として定着しています。



宍粟市商工会 本所
宍粟市商工会 北部支所

〒651-2577 宍粟市山崎町山崎 205

〒671-4221 宍粟市波賀町上野 234-1

TEL: 0790-62-2365

TEL: 0790-75-2180

FAX: 0790-62-4731

FAX: 0790-75-2690

県女性連

第2回 幹部講習会

6月25日、出石永楽館（豊岡市）において第2回幹部講習会を開催し、県下から87名の女性部員が参加した。

研修会では、元NPO法人但馬國出石観光協会 専務理事の加藤勉氏をお迎えし、「伝統文化を交えた地域づくりについて」をテーマに講演をいただき、当地の地域資源である伝統文化を活用した、まちづくりの重要性について説明していただいた。



次に3グループに分かれて、出石の町並みを視察し、ボランティアガイドから説明を受け、最後に各グループの代表が感想を述べた。

地域の良さ、まちづくりの重要性を学ぶとともに女性部員同士の意見交換もあり、今後の女性部活動に役立つ良い機会となった。



県青連

第2回 商工会青年部幹部講習会
第30回 主張発表大会・商人ネットワーク

最優秀賞に輝いた田隅 博也君(市川町)・(株)大八万楼(多可町)が
近畿大会へ進出決定！

7月22日、豊岡市・神鍋温泉 ブルーリッジホテルにおいて、第2回商工会青年部幹部講習会 第30回主張発表大会・商人ネットワークを開催。県下から188名の青年部員が一堂に会し、参加人数が過去最多の大会となった。

主張発表大会では、各地区代表の7名より発表があった。審査の結果、「私のターニングポイント～青年部での挑戦と成長～」と題して発表した田隅 博也君(市川町)が見事に最優秀賞に輝いた。続く優秀賞には、藤原 尚嗣君(多可町)が受賞した。

続いて開催された講演会では、中田工芸株式会社 代表

取締役 中田 修平氏を講師に迎えて「兵庫から世界一のブランドをつくる挑戦」と題してお話いただいた。

また、プログラムの最後に開催されたひょうご商人ネットワーク商談会においては、各地区代表の7社の出展があった。各社、メイン事業や新事業等をPRすべく、パワーポイントや動画を使用してプレゼンテーションを行い、最優秀賞を(株)大八万楼(多可町)、優秀賞を星と月(宍粟市)が受賞した。

主張発表大会と商人ネットワークで最優秀賞を受賞した2名は、9月2日に京都府で開催される近畿大会に当県代表として出場する。



△ 主張発表大会 最優秀賞
田隅 博也君(市川町)



△ 商人ネットワーク 最優秀賞
(株)大八万楼(多可町)



△ 講師の中田工芸株式会社
代表取締役 中田 修平氏

兵庫型奨学金返済支援制度

兵庫県では中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、「兵庫型奨学金返済支援制度」を設け、若手従業員の奨学金返済を支援している企業とその従業員に対し、補助を実施しています。R6年度から制度内容を大幅に拡充し、補助期間を従来の5年から最大17年間に延長することで、若手従業員の経済的負担をさらに軽減するとともに、県内企業の人材確保を後押しします。なお、本制度の申請において、事務作業の簡略化を図るため、インターネットを活用した申請も可能としておりますので、まずは下記問い合わせ先までご相談ください。

奨学金
返済支援
兵庫県

- 補 助 額：年間返済額の2/3（上限12万円）
- 補 助 期 間：対象者1人につき最大17年間（県で定める認定制度取得内容により異なる）
- 対 象 企 業：県内に本社がある中小企業で、従業員に対し奨学金返済負担軽減制度を設けている。
- 対象従業員：対象企業に勤務する40歳未満の正社員で、日本学生支援機構の奨学金を返済している。

県と企業の負担イメージ

年間返済額 18万円		最 大 補助期間	補 助 総 額	認 定 取 得 内 容
6万円 (企業の実質負担額)	12万円 (県負担: 企業補助6万円 + 従業員補助6万円)	5年	90万円 (うち県60万円)	未取得
各認定制度の取得企業等はサイト上で公開しています。		10年	180万円 (うち県120万円)	SDGs宣言企業 フレッシュミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス宣言企業
   		17年	306万円 (うち県204万円)	SDGs認証企業 ミモザ企業 ワーク・ライフ・バランス認定企業又は ワーク・ライフ・バランス表彰企業

〈申請受付・問い合わせ先〉 一般財団法人兵庫県雇用開発協会 Tel 078-362-6583

＼今年度も出展支援を行います／



FOOD STYLE JAPAN
フードスタイルジャパン
外食・中食・小売

関西の食を全国へもって！ 全国の食を関西にもって！

関西

2026年

日時 1月28日(水) 10:00~17:00 29日(木) 10:00~16:00

会場 インテックス大阪
(大阪市住之江区南港北1-5-102)

- 支援内容**
- ① トライアルブース 1.5m×1.5m の特設ブース装飾を制作！
事業所ごとに希望のデザインで制作させていただきます。原則、今までに制作していない事業所を対象とします。その他、小間代、備品レンタル、電気や水道使用等、出展にかかる費用は各自ご負担いただきます。
 - ② 兵庫県商工会エリアでの共同出展エリアに設置
統一イメージの約50社が並び、会場が一番インパクトのあるエリアを演出します。
 - ③ FCPシートの作成支援
自社の商品の特色や取引条件等を的確に把握してもらうための商談シートの作成を支援します。
 - ④ オンラインセミナー、個別相談の実施
出展に関する悩みやお困りごとを、登録専門家に何でも相談いただけます。

出展支援に関するお問合せ：兵庫県商工会連合会 広域指導センター（大上・磯嶋）TEL：078-371-1362
開催概要など詳細は公式HP等でご確認ください。出展規程は、FOOD STYLE Kansai 実行委員会に準拠します。
開催概要 | FOOD STYLE Kansai 2026 <https://foodstyle.jp/kansai/>



制作予定の装飾（段ボール製）

※今年度の募集については8月8日(金)をもって締め切らせて頂きました。

事業所の地震・津波リスクに備える

火災共済

ひょうご共済 地震特約 検索

—ひょうごの中小企業を補償でサポート！—



ひょうご共済
兵庫県共済協同組合

9月のこよみ

- 2日(火)・3日(水) 近青連主張発表大会
- 4日(木)・5日(金) 近女性連主張発表大会
国際フロンティア産業メッセ
金融審査委員等講習会
- 9日(火) 支援力向上研修会
- 9日(火)・10日(水) 商工会監事研修会
- 16日(火) 管理マネジメント研修会
- 24日(火)・26日(金)

10月のこよみ

- 2日(木) 商工会管理者研修会
- 10日(金) 経営支援事例発表近畿大会
- 15日(水)・16日(木) 女性部全国大会
- 28日(火) 中間監査



オープンネーム後継者募集イベント 事業承継マッチング in 兵庫

7月10日、神戸駅前研修センターにおいて、日本政策金融公庫等との共催による、オープンネーム後継者募集イベント 事業承継マッチング in 兵庫が開催され、オンライン参加者も含め全国から200名の参加があった。

このイベントは、経営者の高齢化等による事業承継が喫緊の課題であり、地域で必要とされる企業を次世代に繋ぐことを目的として兵庫県では初めての開催となった。

会場には、引継希望者として商工会会員事業所の参加も見られ、関心の高さが窺えた。

今回、後継者を募集する企業として県内から4社が参加、商工会地区からは、南あわじ市商工会会員の「民宿・割烹しらすさき」が登壇、支援を行った同商工会の俊成経営指導員が同席し自社の事業説明を行った。

説明後、登壇企業は事前エントリーがあった引継希望者と対面及びオンラインでの交渉に臨んだ。今後、第三者による事業承継やM&Aが期待される。



県職協 第13回 通常総会・第13回 経営支援事例発表兵庫大会を開催

6月7日、神戸研修センターにおいて第13回通常総会・第13回経営支援事例発表大会を開催し、県下から約210名の職員が出席した。

第1号議案 令和6年度事業報告並びに収支決算承認について

第2号議案 令和7年度会費の賦課基準並びに徴収方法の決定について

第3号議案 令和7年度事業計画並びに収支予算設定について

第4号議案 欠員に伴う役員の選任について



△ 通常総会であいさつをする長谷川会長



△ 経営支援事例発表のあとの研修会で講義する全国商工会連合会 福田課長

通常総会に引き続き開催した経営支援事例発表兵庫大会では、各支部の代表7人が日頃の経営支援の成果を発表。

「聴く力が変える～断られちゃいました!から始まる伴走支援～」をテーマに発表した、阪神支部代表・國竹風音氏(芦屋市)が見事最優秀賞を受賞した。続く優秀賞には、但馬支部代表・永澤一博氏(養父市)が受賞した。最優秀賞の國竹氏は10月10日に奈良県で開催される近畿大会に兵庫県代表として出場する。



△ 最優秀賞を受賞した國竹氏(芦屋市)

【発表者】※発表順

支 部	商工会名	氏 名
中 播 磨	神 河 町	山 名 加 織
淡 路	淡 路 市	浦 本 将 誉
西 播 磨	上 郡 町	田 中 佑 樹
丹 波	丹波篠山市	小 林 和 也
東・北播磨	吉 川 町	長谷川 三重子
但 馬	養 父 市	永 澤 一 博
阪 神	芦 屋 市	國 竹 風 音